

**Unicorn ID Manager**

**Active Directory 証明書サービス**

**インストールガイド**



**OSSTech**

OSSTech(株)

作成日： 2021年12月06日

リビジョン： 1.0

## 目次

1. はじめに.....	1
1. Windows Server 2019 での設定手順.....	2
1.1 Active Directory サーバーへの証明書サービスのインストール.....	2
1.1.1 証明書サービスのインストール.....	2
1.1.2 Active Directory 証明書サービスの構成.....	4
2. 改版履歴.....	12

## 1. はじめに

本文書は、Unicorn ID Manager で Active Directory を連携する際に必要となる証明書サービスのインストール手順について説明します。

Unicorn ID Manager と連携するためには、Windows サーバーに「証明書サービス」をインストールし、インストール後にマシンの再起動が必要となります。

# 1. Windows Server 2019 での設定手順

Windows Server 2019 への証明書サービスインストール手順を以下に示します。

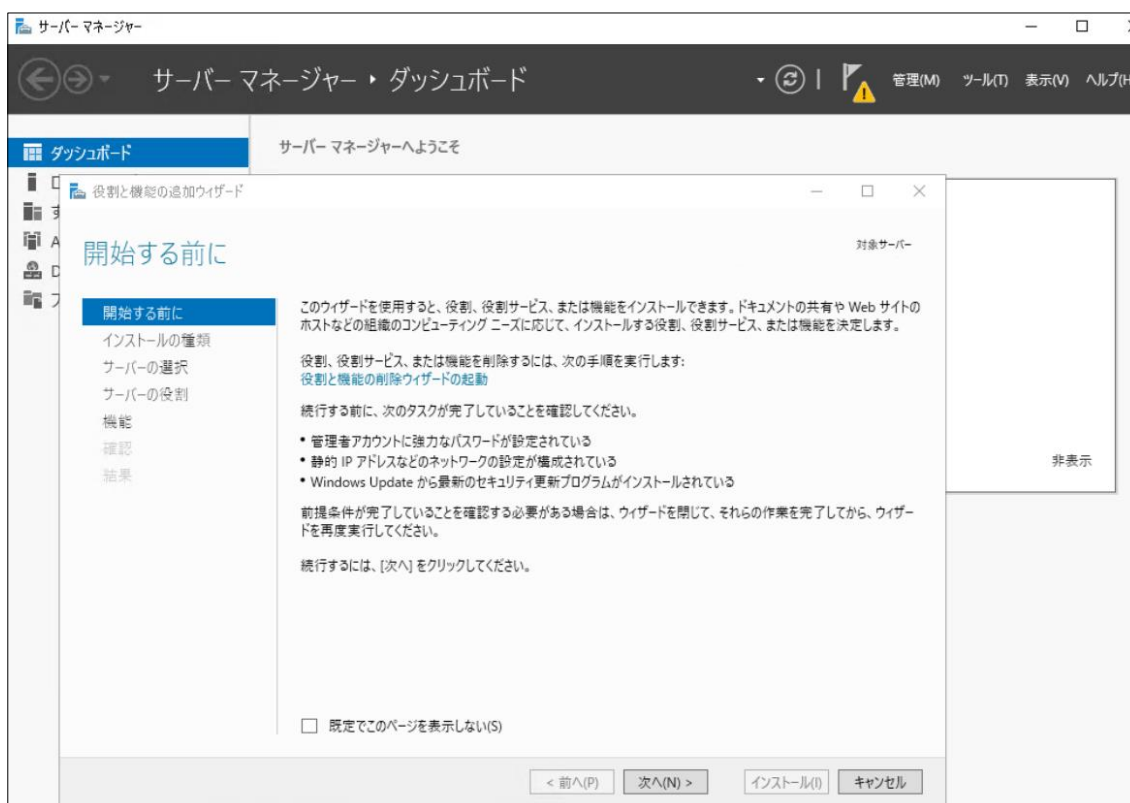
## 1.1 Active Directory サーバーへの証明書サービスのインストール

Unicorn ID Manager から Active Directory と LDAPS 通信を行うために、Unicorn ID Manager の通信相手となる Windows サーバーに証明書サービスをインストールする必要があります。証明書サービスのインストール後は、**Windows サーバーの再起動**が必要となります。

### 1.1.1 証明書サービスのインストール

「スタート」 - 「管理ツール」 - 「サーバーマネージャー」で、サーバーマネージャーを起動し、「役割と機能の追加」を選択します。

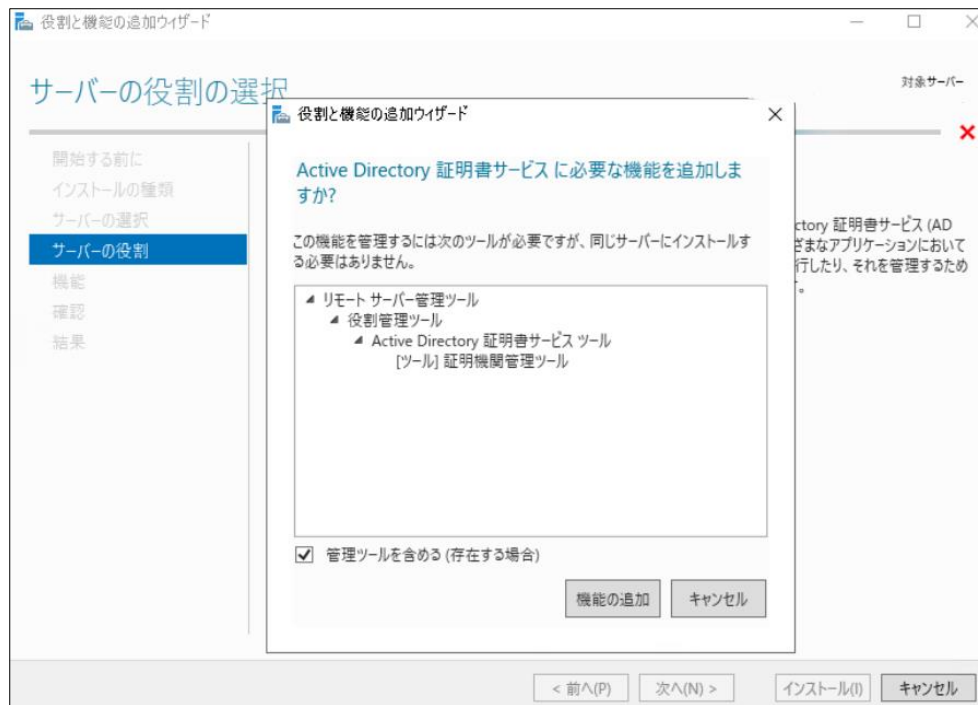
「開始する前に」の画面で「次へ」を押します。



「インストールの種類」の画面で「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し「次へ」を押します。

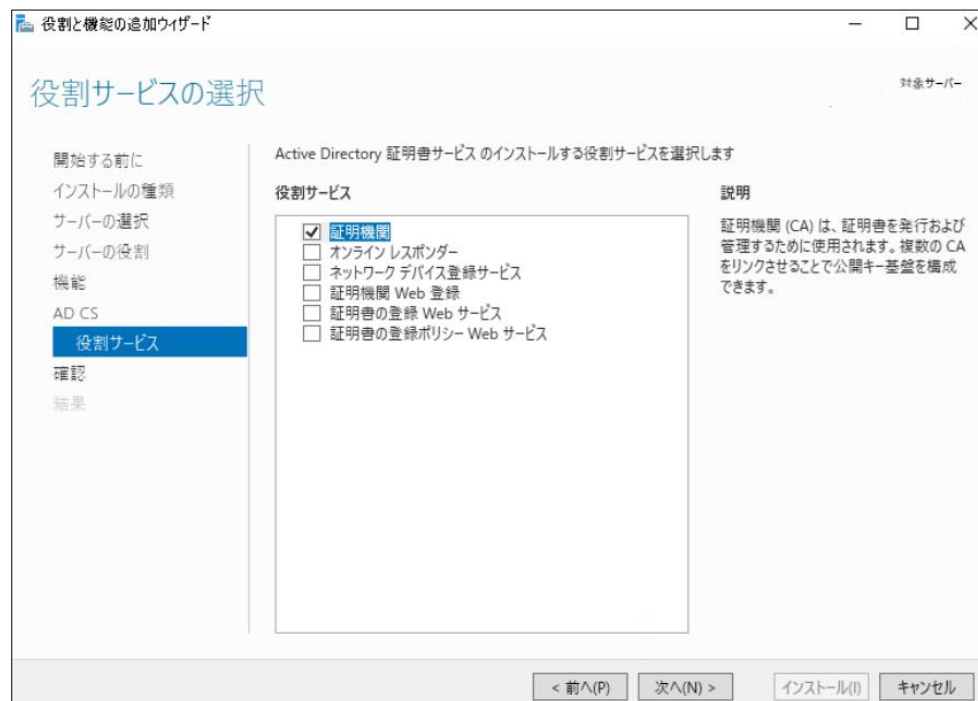
「サーバーの選択」の画面で「サーバープールからサーバーを選択」を選択し「次へ」を押します。

「サーバーの役割」の画面で「Active Directory 証明書サービス」を選択し「機能の追加」をクリックし「次へ」を押します。



「機能」の画面はデフォルトのまま「次へ」を押します。

「AD CS」の画面で「次へ」を押します。



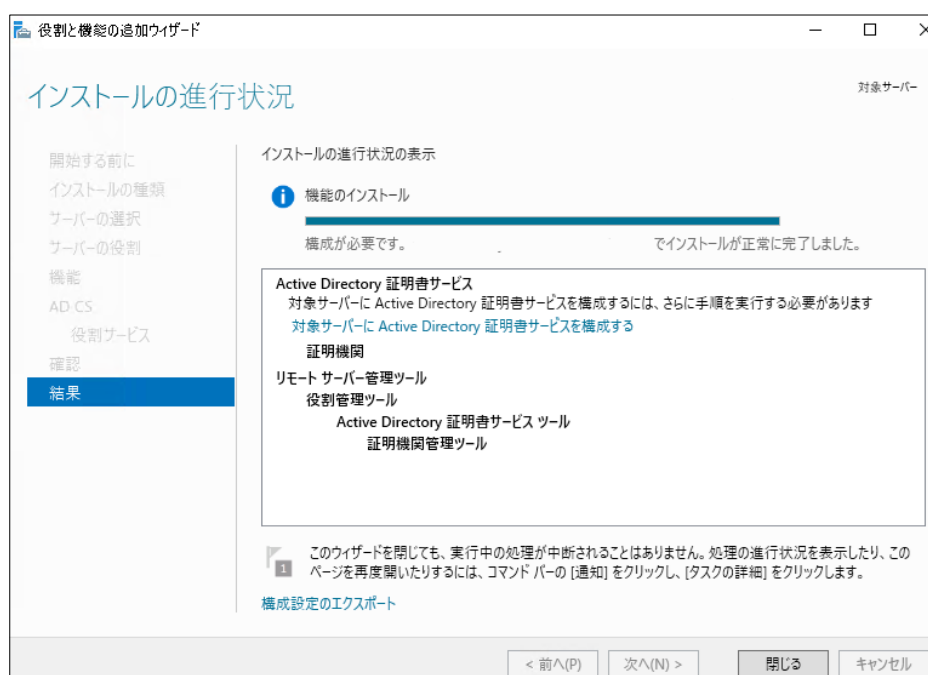
「役割サービス」の画面で「証明機関」を選択し「次へ」を押します。

「確認」の画面で「必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する」にチェックをいれ、「は

い] を選択し、インストールをクリックします。



機能のインストールが完了したら、「閉じる」を押します。



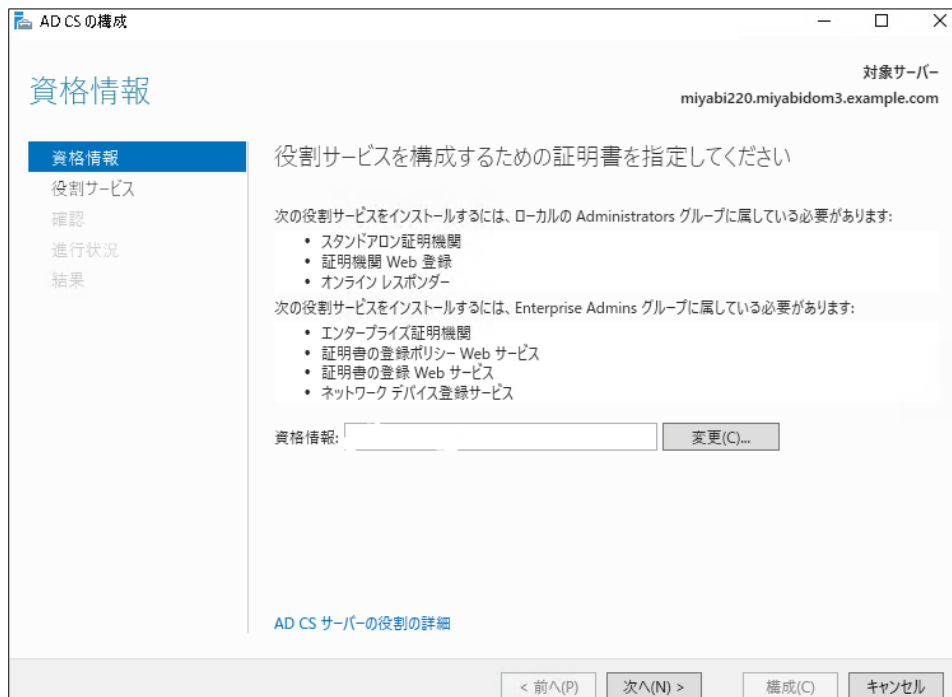
## 1.1.2 Active Directory 証明書サービスの構成

「サーバーマネージャー」-「タスクの詳細」-「フラグ (旗のアイコン)」-「対象サーバーに Active Directory 証明書サービスを構成する」を押します。

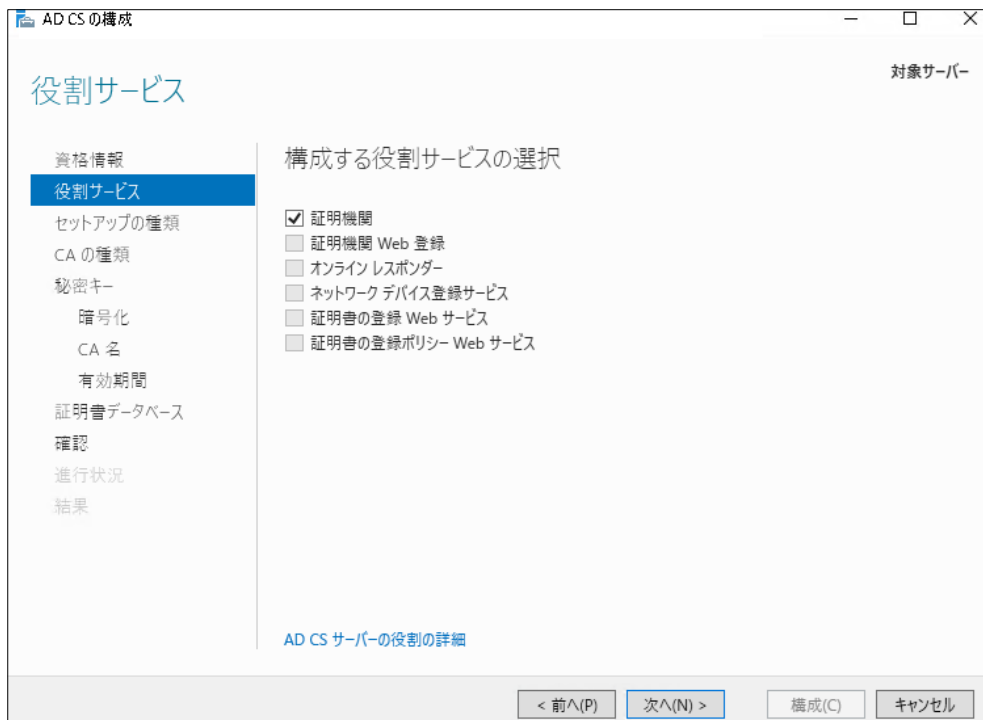
## Active Directory 証明書サービスインストールガイド



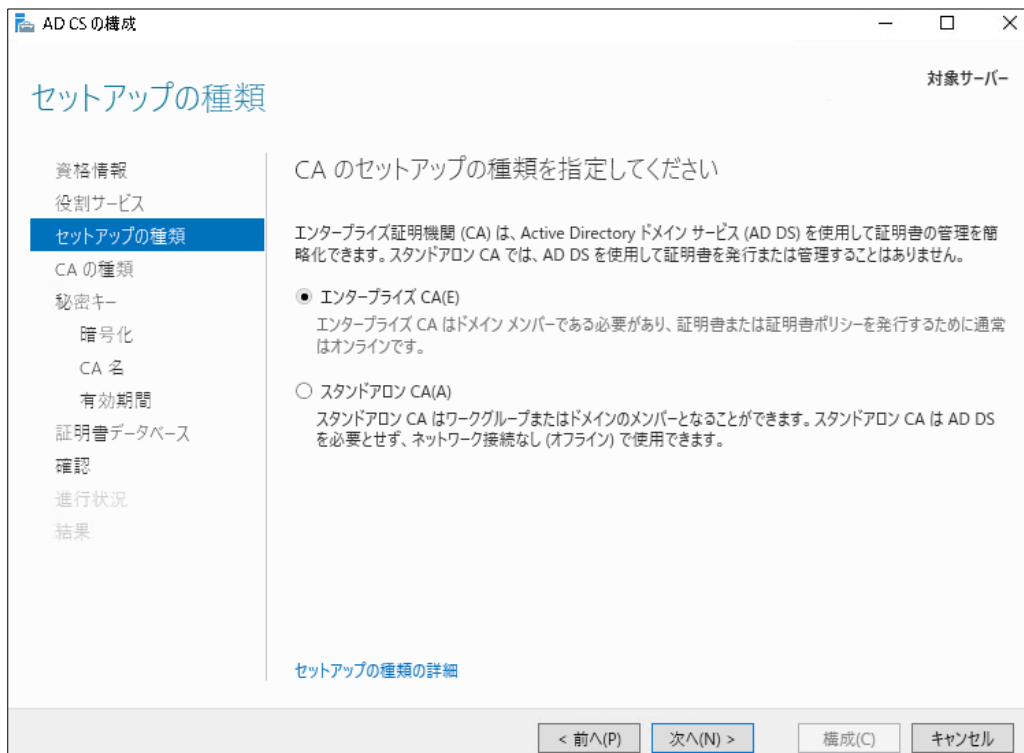
「資格情報」の画面で、デフォルトの状態のまま「次へ」を押します。



「構成する役割サービスの選択」で「証明機関」にチェックを入れ、「次へ」を押します。

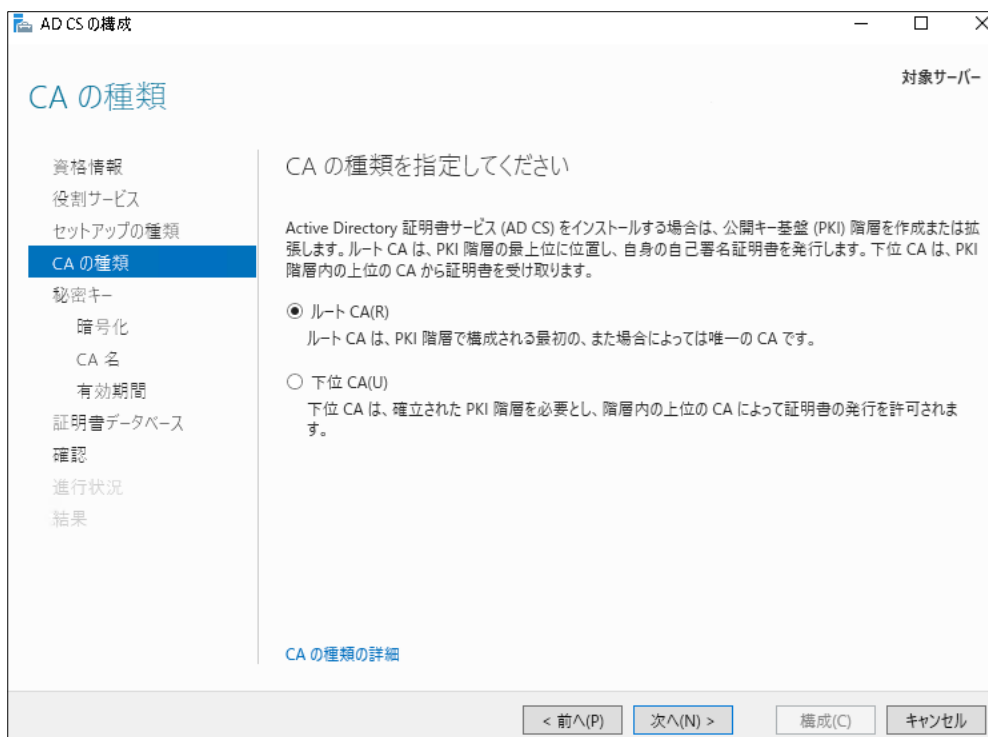


「CA のセットアップの種類を指定してください」で、「エンタープライズ」を選択します。

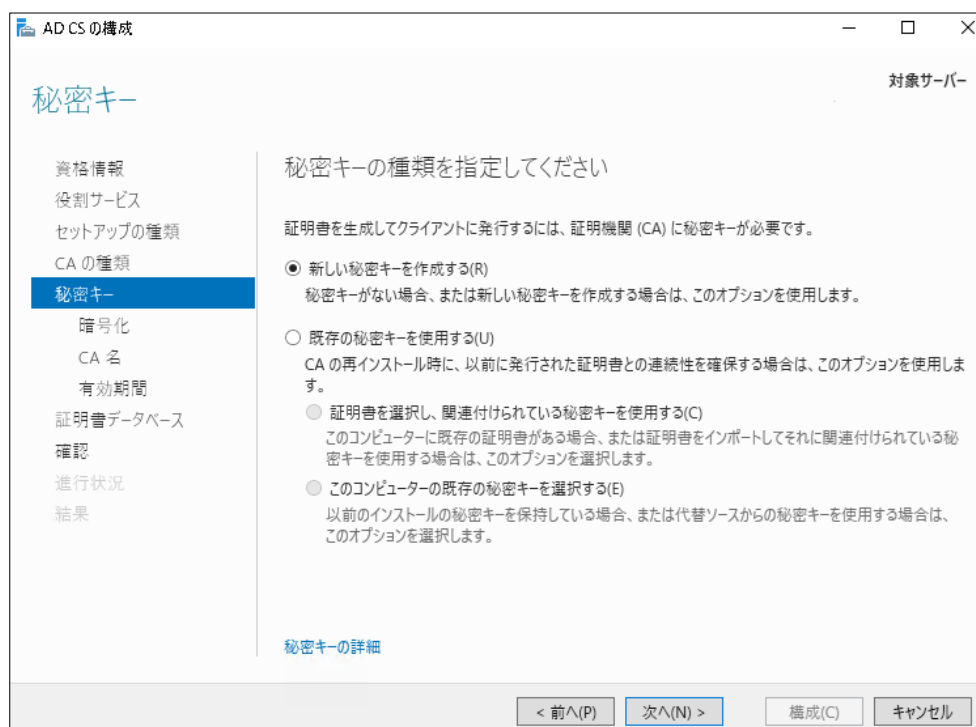


「CA の種類を指定してください」で、「ルート CA」を選択します。

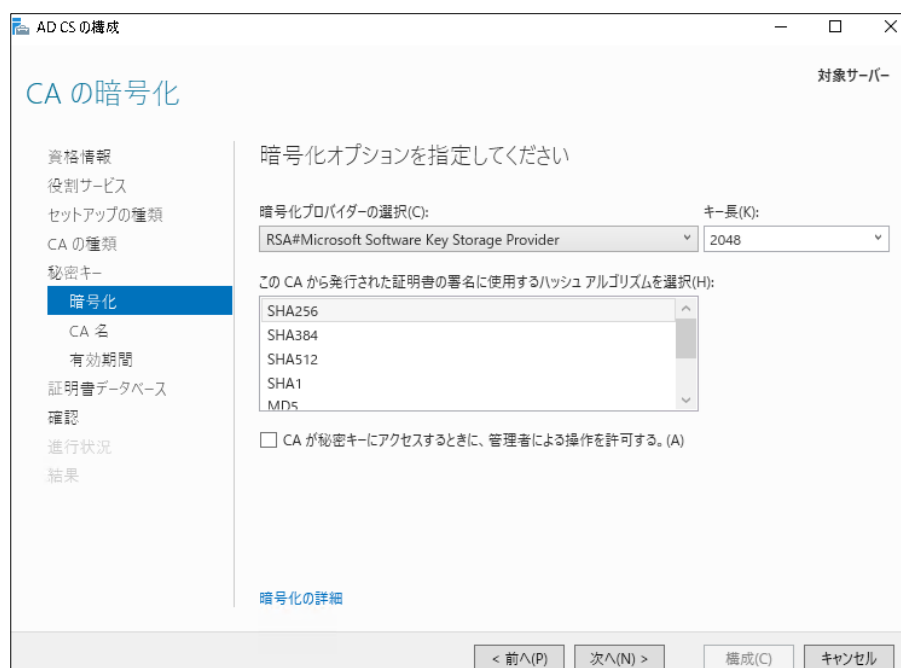




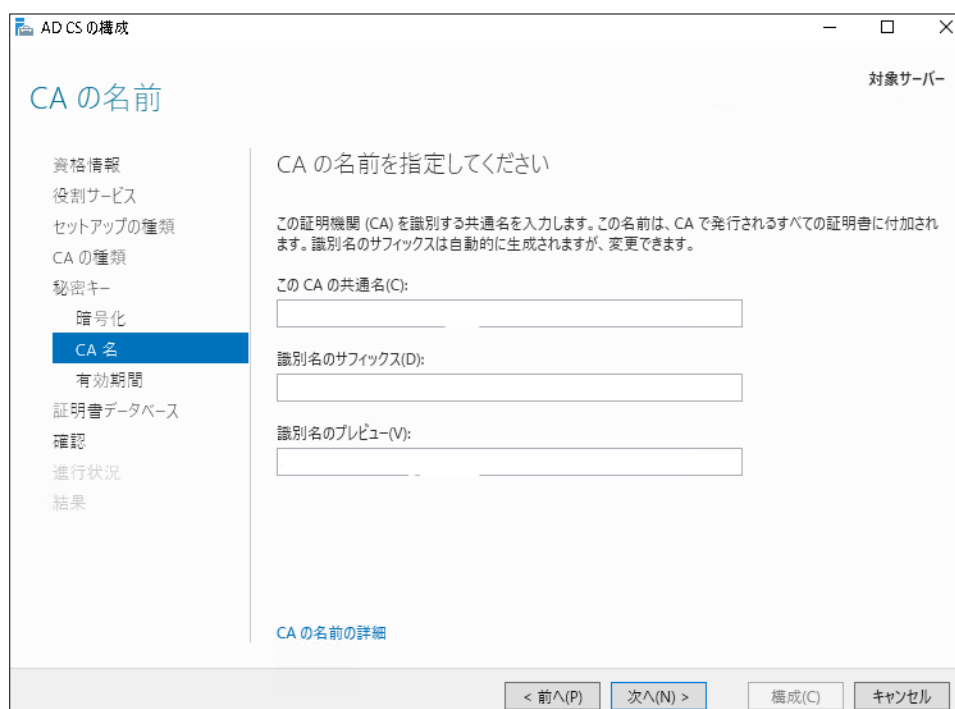
「秘密キーの種類を指定してください」で、「新しい秘密キーを作成する」を選択します。



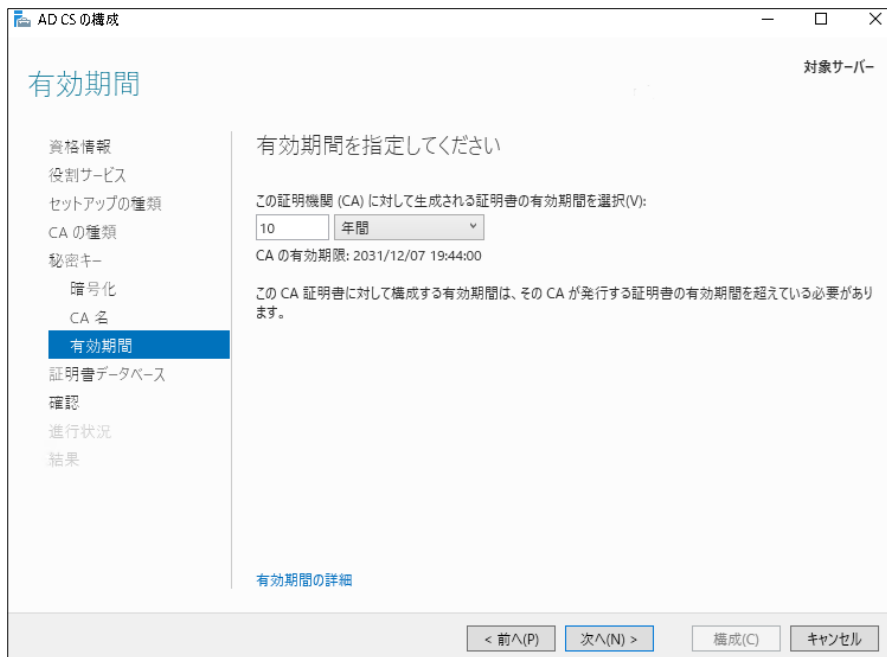
「CA の暗号化」で、デフォルトの「RSA#Microsoft Software Key Storage Provider」「2048」、  
「SHA256」を選択し、「次へ」を押します。



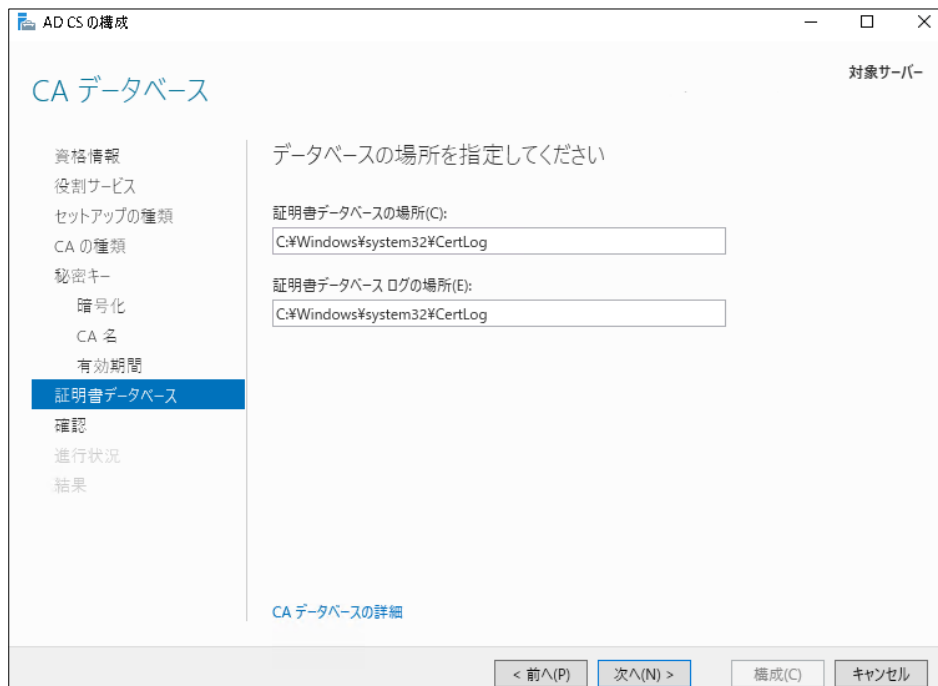
「CA 名の名前」で、「この CA の共通名」をデフォルト値、もしくは、この Active Directory に構築された CA であることが分かる名称を設定します。



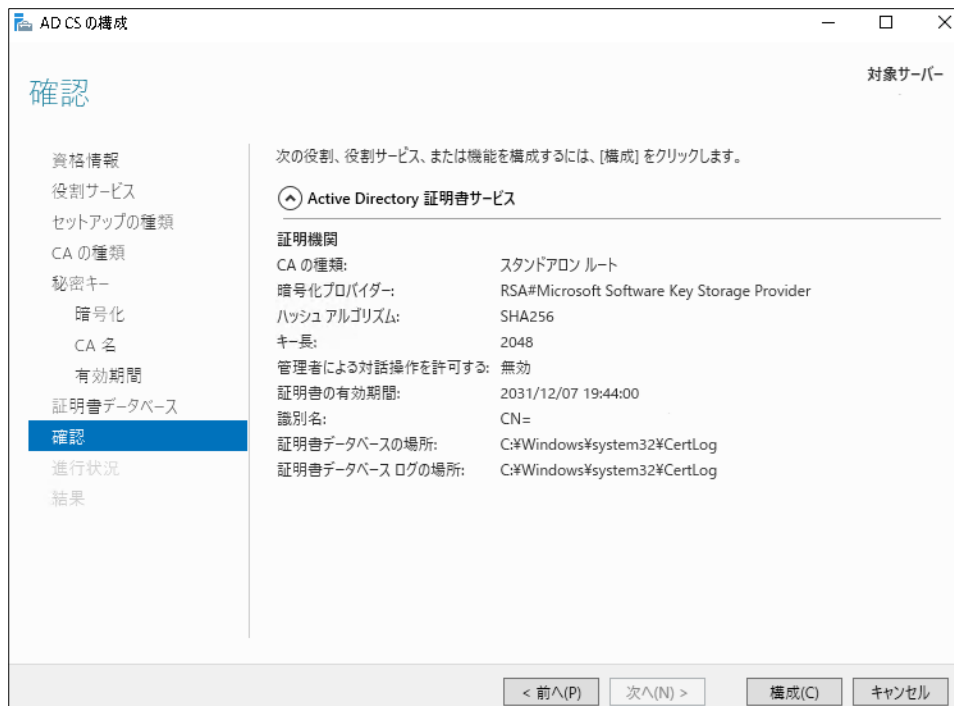
「有効期間」の設定で、有効期間を設定します。有効期間が短い場合、証明書の期限切れが発生して、Unicorn ID Manager との連携が行えなくなりますので、本システムを利用する期間を満たす十分に長い期間を指定してください。(例: 10 年間など)



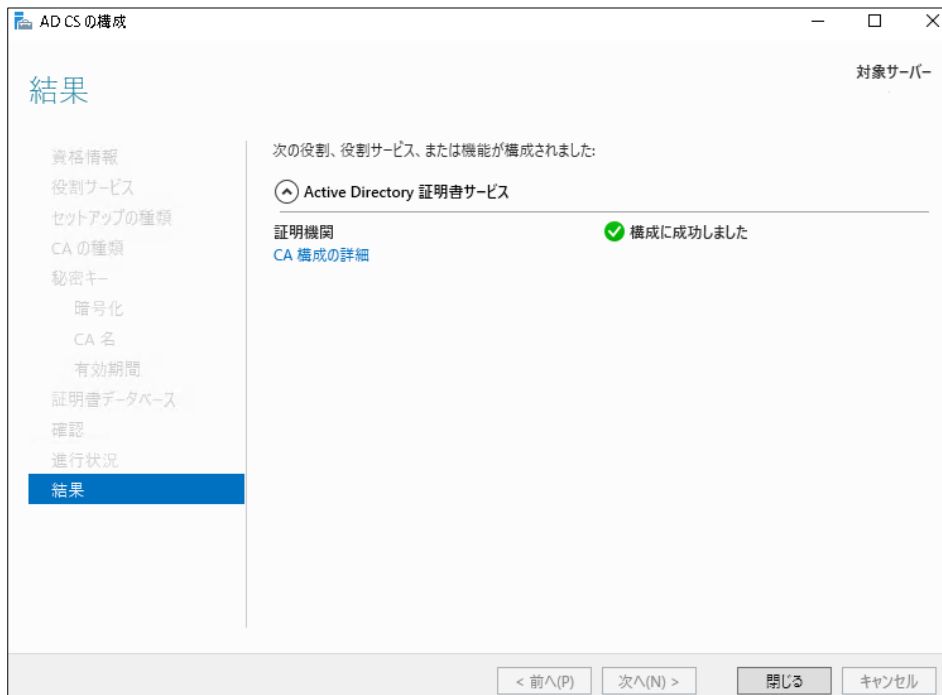
デフォルトの状態のまま「次へ」を押します。



「構成」を押します。



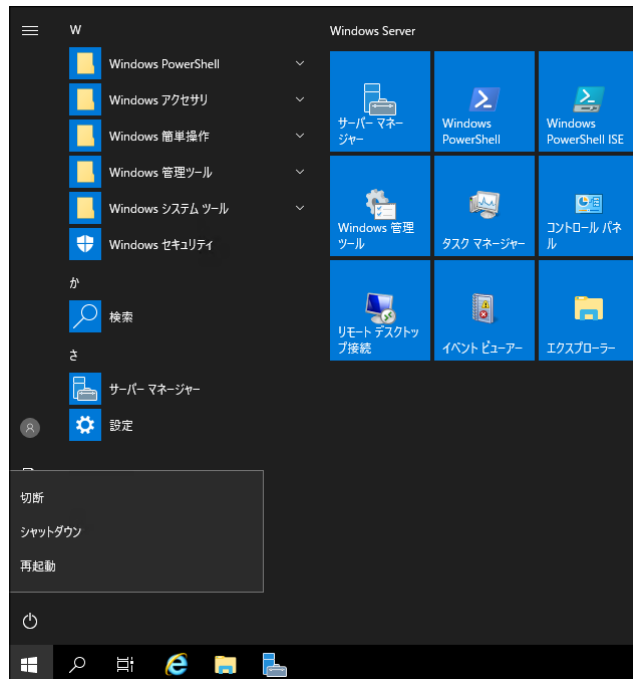
構成に成功しましたと表示された「閉じる」を押します。



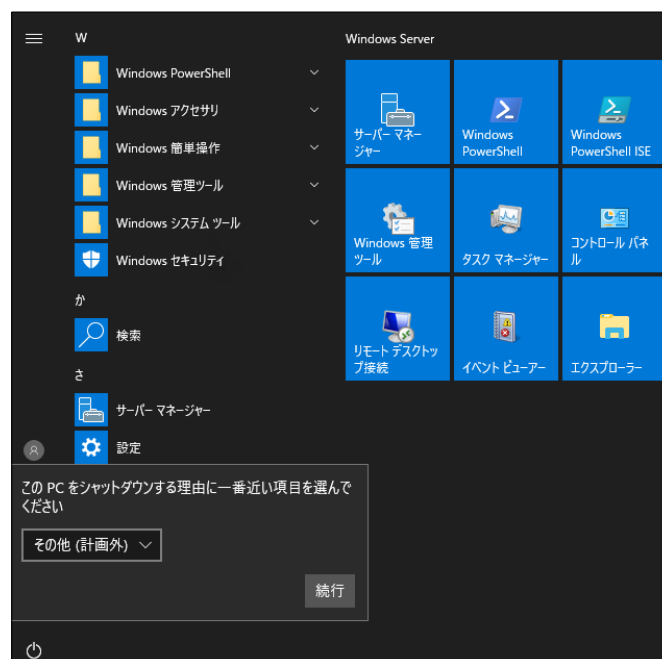
作業完了後、Windows サーバーを再起動します。

「スタート」の「電源ボタン」を押し、「再起動」を選択します。

## Active Directory 証明書サービスインストールガイド



「この PC をシャットダウンする理由に一番近い項目を選んでください」では、「その他(計画外)」を選択し、「続行」を押します。



以上で証明書サービスのインストールは完了です。

## 2. 改版履歴

- 2023 年 12 月 06 日
  - 初版作成